

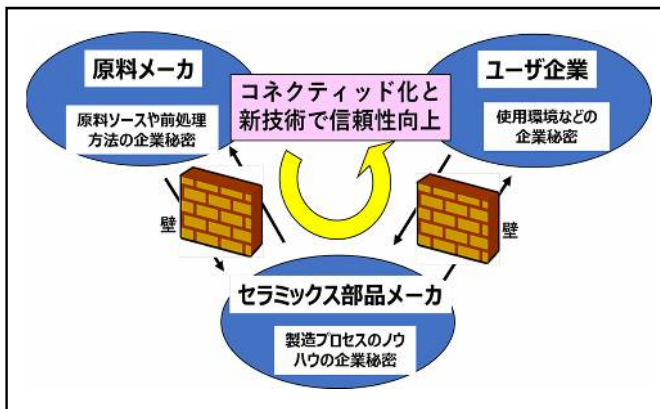
高信頼性のためのセラミックス産業のコネクティッド化に関する戦略策定（新規）

（一財）機械システム振興協会

委託先：（一社）日本ファインセラミックス協会

【事業の目的】

セラミックス産業の市場がエレクトロニクスから自動車などに拡大し、セラミックス部品に要求される耐用年数が大幅に伸びたため、信頼性向上が大きな課題になっています。現状では、蓄電池の発火事故やセラミックス電子部品の欠陥などのトラブルが生じていますが、その要



因として、焼成等のノウハウ、使用環境などの情報が企業毎に秘匿され、川上・川下の企業間で、情報共有化、コネクティッド化が遅れていることが指摘されています。

これらを背景として、セラミックス産業のコネクティッド化、情報流通を促進し、サプライチェーン全体として信頼性向上に取り組むこと、それにより自動車などの最終的な製品の信頼性を上げることが必要になっています。

このため、①セラミックス部品の高信頼性のデータの体系化を検討し、②高信頼性のためのセラミックス産業のコネクティッド化を進める戦略を策定いたします。

【事業の概要】

①対象とする技術

原材料、セラミックス部品、製品の企業の枠を超えて影響を及ぼす因子の明確化や受け入れ・出荷時の検査技術などセラミックスの高信頼性技術を対象とします。

②主な参加者

学識経験者、関係企業、検査機器メーカー、国立研究所などが参加します。

③実施の概要とポイント

- ・過去のトラブル例、技術パラメータと信頼性の関係などから高信頼性のためのデータ体系の仮説を作成します。
- ・上記仮説などを用いて企業ヒアリングを行い、データ体系をブラッシュアップし、企業間で流通させるべき情報を明らかにします。
- ・川上から川下の企業が協力してセラミックス産業のコネクティッド化に関する経営戦略の重要性を整理し、高信頼性のためにセラミックス産業のコネクティッド化を進める戦略を策定します。
- ・この成果と研究開発すべき技術課題の検討を併せて、翌年度に、公的研究開発プロジェクトとして提案できるように検討を進めます。